

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】新見市](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km <sup>2</sup> )
13	2006.5.31	47	2011.4.28	岡山県	新見市	34,146	793.27
構想の要約		新見市は、市の面積の86%を森林が占め森林資源が豊富である。未利用となっている林地残材の活用を積極的に進めることとし、当面はおが粉として市特産である干屋牛(ちやぎゅう)の敷料等に利用し、地域内で循環することで、新たな雇用の創出、農家、林家の所得向上を目指し、将来的には林地残材等のペレット化などのエネルギー利用やバイオプラスチックなどのマテリアル利用を検討し「地域循環型社会」の構築を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		①木質バイオマスのエネルギー利用 ②木質バイオマスのマテリアル利用 ③もみ殻の利活用 ④生ごみ、家畜排せつ物、廃食用油の有効利用					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○	
廃食用油	○	果樹剪定枝		
水産加工残さ		竹材		
製材工場等残材	○	その他( )		
建設発生木材	○			
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○			
古紙・廃棄紙				
下水汚泥など	○			
その他( )				

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(敷料)	○	炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他( )	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2011.05.09	2011.04.28バイオマスタウン構想見直し公表。

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標  
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量		利活用計画				炭素換算 利用率	
	浸潤量 (t/年)	炭素換算 (t/年)	変換・処理方法	湿潤量 (t/年)	炭素換算 (t/年)	利用・販売		
廃棄物系	家畜排せつ物	68,600	4,093	堆肥化 メタン発酵	68,600	4,093	堆肥	100%
	食品廃棄物	3,250	1,292	メタン発酵	150	7		0.5%
	廃食用油	15.4KL	11.0	BDF化	8.5KL	6.0	BDF	54.5%
	下水汚泥	2,000	192	堆肥化	1,620	156	堆肥	81.3%
	し尿汚泥	760	73	堆肥化	760	73	堆肥	100%
	剪定枝等	480	107	チップ化 堆肥化, 燃料化	13,100	2,918	チップ 堆肥 燃料	93.8%
	製材工場残材	12,700	2,829					
	建設発生木材	400	176					
	小計	88,205.4	8,773		82,634.7	7,253		82.7%
未利用	林地残材	14,100	3,141	燃料化 チップ化 ペレット化 おが粉	5,000	1,114	チップ 燃料 ペレット 敷料	35.5%
	稲わら	7,770	2,225	農業利用、飼料	7,770	2,225	敷料・飼料	100%
	もみ殻	1,580	452	敷料、農業利用	316	90	農業利用	19.9%
	小計	22,020	5,818		13,086	3,429		58.9%

### バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)

#### (3) 取組工程

	短期：平成 23～25 年度	中期：平成 26～30 年度	長期：平成 30 年度～
木質バイオマスの利用 推進	木質バイオマス燃料化 事業の検討 熱利用施設の検討	施設整備	燃料化事業の推進
生ごみ、家畜排せつ物、 廃食用油の有効利用	廃食用油の回収推進 BDF の利用促進	メタン発酵施設の導入 調査	BDF 化施設の規模拡大
地域のバイオマス資源 の利活用に向けた可能 性調査等	木質バイオエタノール に関する調査		

実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)